事　業　概　要

（平成25年度のまとめ）

京都府立図書館

目　　　　　次

Ⅰ　年　次　概　要
　1　平成25年度の主な動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　2　資料・利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　図　書　館　資　料
　1　総資料数・年間収集資料数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　2　図書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　　（1）　資料数
　　（2）　館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数
　　（3）　視聴覚資料・障害者用資料
　3　逐次刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

Ⅲ　利用の状況
　1　開館日数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　2　入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　3　登録者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　4　個人貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　　（1）　貸出者数
　　（2）　貸出図書数
　　（3）　借受提供
　5　図書館等への貸出（一括貸出を除く）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　6　市町村への一括貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　7　調査相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　8　対面朗読サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　9　点字・音声資料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　10　マルチメディア利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　11　複写利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　12　取寄せ申込みeサービス依頼件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　13　ホームページアクセス件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

Ⅳ　京都府図書館総合目録ネットワーク（K-Libnet）の状況（平成26年12月１日現在）・・　8

Ⅴ　事業その他
　1　連絡協力車の運行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　　（1）搬送の内訳
　　（2）搬送コース
　2　図書館事業等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　　（1）読書週間記念講演会等の実施
　　（2）図書館・読書施設等職員研修の実施
　　（3）学校支援事業
　　（4）大学との連携
　　（5）美術館等他機関との連携
　　（6）岡崎地域活性化事業との連携
　　（7）館内見学会の実施
　　（8）京都府図書館等連絡協議会との連携

Ⅵ　組織及び職員数（平成26年12月1日現在）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

Ⅶ　経費・・　13

Ⅷ　施設の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

Ⅸ　沿革・・　14

Ⅹ　歴代館長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

【参考】京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針・・・・・・・・　18

Ⅰ　年次概要

1　平成25年度の主な動き

京都府内26市町村すべてを結ぶ京都府総合目録ネットワーク（K-Libnet）の参加館は67館、うち蔵書データ提供館は60館で、そのうち横断検索館は52館と昨年度より３館増加となっている。

市町村支援の充実のため毎年行っている市町村図書館・読書施設等職員研修では、平成25年度もキャリアに応じて学べるステップ別研修を行った。また、出前研修として３つのテーマで、それぞれ北部・中部・南部会場で実施した。

「京都府立図書館サービス計画」実施の２年目であり、次のさまざまな重点事業に取り組んだ。

まず、多くの観光客が訪れる岡崎の地の利を活かし、図書館の利用や各地域への観光を促進しようと「図書館で、京都のええトコ再発見！」と題して、京丹後市ほか６市町の図書館・読書施設等の特色を紹介するパネル展示や、その地域の観光パンフレット等を提供した。

また、１階閲覧室内に、京都に関する本コーナーを設置し、今からどこかへ行きたい時にすぐに参考になる本を集め、館内閲覧用として提供した。

学校支援の一環として、当館所蔵資料を活用した調べ学習等の場としての活用を促すため、当館ホームページに調べ学習の取組事例を掲載するとともに、NHK Eテレの番組『考えるカラス』と連動した「科学の考え方を図書館で学ぶ高校生向けのワークショップ」を開催した。

さらに、視覚障害のため障害者手帳を交付されている方に限っていた音声資料貸出サービスについて、著作権法の一部改正を受け、図書館団体が権利者団体との協議の結果策定されたガイドラインに準じて、利用者の拡大を図った。

外部サインについては、当館シンボルマーク・ロゴを使用してリニューアルするなど当館案内の改善に努めた。また、Googleマップの機能を活用し、市営地下鉄「東山」から当館までのルート案内、インドアマップによる館内平面図やストリートビューでの館内案内などをインターネット上に掲載し、初めての方も来館しやすい工夫を図った。さらに、当館開催の行事等をホームページに掲載し、広くお知らせするとともに、京都府広報課ツイッターにて、年26回ツイートして情報発信に努めた。

2　資料・利用

(1) 資料数

平成25年度中の資料収集は、購入図書、寄贈図書等を25,189冊受け入れ、蔵書数は897,863冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、280,801冊相当あり、総計の蔵書数は1,178,664冊である。

(2) 貸出

ア　個人貸出

個人貸出は、総数で延べ92,610人、205,016冊である。

イ　図書館等への貸出

府内の市町村立図書館等への貸出（一括貸出を除く）は20,900冊、他府県の公立図書館等への貸出は799冊であり、総数21,699冊である。

ウ　市町村への一括貸出

貸出文庫（府内の市町村立図書館等の図書館活動を支援するため整備）の貸出は、28,822冊である。

Ⅱ　図書館資料

1　総資料数・年間収集資料数

図書数　897,863冊、逐次刊行物 280,801冊（図書換算数）、総資料数1,178,664冊

年間収集資料数　　図書・視聴覚資料　25,189冊（点）

逐次刊行物　402タイトル（購入分のみ）

2　図　書

(1) 資料数

（単位：冊）

区　分		25年度受入冊数				25年度末図書数	うち児童書	うち京都資料	うち外国語資料
		購　入	寄　贈	その他	計				
館内閲覧	図書資料	12,425	2,576	219	15,220	775,368	47,042	22,428	19,299
個人	視聴覚資料	276	103	17	396	23,269			
貸出用	計	12,701	2,679	236	15,616	798,637			
市町村支援用	貸出文庫	9,517	56		9,573	99,226	67,115		5
合　計		22,218	2,735	236	25,189	897,863	114,157	22,428	19,304

(注)外国語資料には、児童書、京都資料の外国語資料を含む。

(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数(25年度末)

分　類	冊　数（冊）	百分比（%）
0　総　記	39,306	4.9
1　哲　学	39,666	5.0
2　歴　史	84,024	10.5
3　社会科学	168,238	21.1
4　自然科学	49,463	6.2
5　技　術	56,698	7.1
6　産　業	41,485	5.2
7　芸　術	54,746	6.9
8　言　語	14,611	1.8
9　文　学	155,302	19.4
小　計	703,539	88.1
教科書	23,287	2.9
児童書	47,042	5.9
その他（注）	24,769	3.1
合　計	798,637	100.0

（注）「その他」の冊数は、視聴覚資料と点字図書の合計点数である。

(3) 視聴覚資料・障害者用資料

視聴覚資料

区　　分	25年度末タイトル数（点数）
CD	676　　(817)
CD－ROM	1,400　(1,523)
DVD	1,986　(1,988)
DVD－ROM	320　　(320)
ビデオテープ	3,170　(3,181)
カセットテープ	887　(2,710)
マイクロフィルム	125　(8,007)
マイクロフィッシュ	402　(3,730)
デイジー	993　　(993)
計	9,959　(23,269)

障害者用資料

区　　分	25年度末タイトル数（点数）	摘　　要
大活字本	2,942　(2,942)	
点字図書	385　(1,500)	
デイジー	993　(　993)	「(3)視聴覚資料」の「デイジー」の再掲
カセットテープ	887　(2,710)	「(3)視聴覚資料」の「カセットテープ」の再掲

3　逐次刊行物

区　　分	新　聞	雑　誌	計
年間購入タイトル数	16	386	402
既存受入タイトル数	110	10,482	10,592

Ⅲ　利用の状況

1　開館日数　285日

2　入館者数　284,080人（1日平均997人）

3　登録者数　5,415人

〈有効登録者数累計100,885人（京都市内81.5%、その他地域8.7%、他府県9.8%）〉

4　個人貸出（利用者登録した個人への貸出）

(1) 貸出者数　延べ92,610人（1日平均325人）

(2) 貸出図書数　205,016冊（1日平均719冊）

うち、インターネット貸出待ち登録サービスによる貸出図書数4,214冊

(3) 借受提供（他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供）

借受先		借受冊数（冊）
府内	市町村立図書館等（ア）	1,344
府外	国立国会図書館（イ）	76
	他府県立図書館（ウ）	616
	他府県市町村立図書館（エ）	410
	他府県大学図書館等（オ）	32
	計	1,134
合計		2,478

(注)予約受付日による年度集計

ア：市町村立図書館等の主な内訳

京都学園大学図書館(100)、八幡市立八幡市民図書館(100)、精華町立図書館(98)、城陽市立図書館(96)、長岡京市立図書館(71)、亀岡市立図書館(68)、木津川市立中央図書館(62)、綾部市図書館(56)、京田辺市立中央図書館(49)、宇治市中央図書館(44)、京都市中央図書館(43)、向日市立図書館(43)、久御山町立図書館(41)、京都市醍醐中央図書館(40)、宮津市立図書館(39)、大山崎町立中央公民館図書室(39)、京都市右京中央図書館(37)、井手町図書館(29)、南丹市立中央図書館(25)、木津川市立加茂図書館(23)、木津川市立山城図書館(22)、福知山市立図書館中央館(22)、京丹後市立あみの図書館(22)、京丹後市立峰山図書館(20)、与謝野町立図書館(19)、舞鶴市立東図書館(17)、舞鶴市立西図書館(15)、京丹波町中央公民館図書室(17)、宇治田原町立図書館(14)、京都市伏見中央図書館(13)

イ：国立国会図書館の内訳

東京本館(52)、関西館(22)、国際子ども図書館(2)

ウ：他府県立図書館の主な内訳

滋賀(101)、大阪(87)、兵庫(86)、奈良(42)、和歌山(31)、岡山(22)、北海道(16)、愛媛(15)、高知(15)、福島(14)、福岡(13)、愛知(12)、埼玉(11)、鳥取(9)

エ：他府県市町村立図書館の主な内訳

大阪市(35)、茨木市(34)、枚方市(31)、豊中市(23)、堺市(20)、寝屋川市 (15)

オ：他府県大学図書館等の主な内訳

大阪大学附属図書館(2)・同外国語学図書館(2)、滋賀県立大学図書館情報センター(2)

5　図書館等への貸出（一括貸出を除く）

貸出先		貸出冊数(冊)	摘要
府内	市町村立図書館等（※）	20,900	26市町村他
	学校図書室	12,704	府立高校46校他
	計	33,604	うち、学校支援セット貸出9,660冊
府外	他府県公立図書館・大学等	799	
合計		34,403	

（※）市町村立図書館等の内訳

地域区分	貸出冊数（冊）	百分比（%）
京都市	2,351	11.2
乙訓地域	2,562	12.3
山城地域	6,041	28.9
南丹地域	3,277	15.7
中丹地域	3,373	16.1
丹後地域	3,216	15.4
府立総合資料館	19	0.1
その他	61	0.3
合計	20,900	100.0

（注）市町村立図書館等を経由し、小中学校へ貸し出した学校支援セット等を含まない冊数である。

6　市町村への一括貸出

（単位：冊）

区　　分	貸　出　冊　数	摘　　要
貸　出　文　庫	28,822	

貸出文庫の内訳　（単位：冊）

教育委員会名	貸　出　冊　数	教育委員会名	貸　出　冊　数	教育委員会名	貸　出　冊　数
福　知　山　市	2,031	綾　　部　　市	300	宮　　津　　市	13,118
向　　日　　市	1,012	京　丹　後　市	2,075	南　　丹　　市	1,122
大　山　崎　町	1,685	相楽東部広域連合	1,822	伊　　根　　町	5,657

7　調査相談

（単位：件）

区　　分	相 談 件 数	摘　　要
調　　査　　相　　談	15,231	
マルチメディア相談	141	マルチメディア閲覧室関係での所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	78	
合　　計	15,450	

8　対面朗読サービス

区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	8	9	9	12	8	8	6	6	8	8	8	4	94
実施時間	16	18	18	24	16	16	12	12	16	16	16	8	188

9　点字・音声資料貸出

（単位：点）

資料区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
テープ			5				3				34	20	62
ＣＤ	24	12	26	28	24	10	19	19	26	26	40	44	298
ディジー	6	8	9	13	19	18	13	6	5	5	15	25	142
合　　計	30	20	40	41	43	28	35	25	31	31	89	89	502

10　マルチメディア利用

（単位：人）

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	24,337	85
ＣＤ－ＲＯＭ端末	287	1
ＡＶブース利用	5,447	19
外部ＤＢ	2,494	9
マイクロフィルム	725	3
合計	33,290	

11　複写利用

（単位：枚）

区分	利用枚数	摘要
図書資料	282,562	白黒275,761、カラー6,801
CD－ROM、外部DB	7,735	
マイクロフィルム	5,336	
合計	295,633	

12　取寄せ申込みeサービス依頼件数　　2,499件

13　ホームページアクセス数　　384,035件

Ⅳ　京都府図書館総合目録ネットワーク（K-Libnet）の状況（26年12月1日現在）

図書館・読書施設名		データ提供館			検索館（データ未提供）
		分散型（横断検索）参加館	集中型参加館		
府立図書館		○			
府立総合資料館		○			
京都市	中央図書館	○			
	右京中央図書館	○			
	伏見中央図書館	○			
	醍醐中央図書館	○			
	北図書館	○			
	左京図書館	○			
	岩倉図書館	○			
	東山図書館	○			
	山科図書館	○			
	下京図書館	○			
	南図書館	○			
	吉祥院図書館	○			
	久世ふれあいセンター図書館	○			
	西京図書館	○			
	洛西図書館	○			
	向島図書館	○			
	醍醐図書館	○			
	久我のもり図書館	○			
	子育て支援総合センター こどもみらい館子育て図書館	○			
	移動図書館	○			
向日市立図書館		○			
長岡京市立図書館		○			
大山崎町立中央公民館図書室			○	32,081　件	
宇治市中央図書館		○			
城陽市立図書館		○			
久御山町立図書館			○	127,521　件	
八幡市立八幡市民図書館		○			
京田辺市立中央図書館		○			
井手町図書館		○			
宇治田原町立図書館			○	79,249　件	
木津川市	市立中央図書館	○			
	市立加茂図書館	○			
	市立山城図書館	○			
精華町立図書館		○			
笠置町中央公民館図書室					○
和束町体験交流センター図書室					○
南山城村図書室					○
亀岡市立図書館		○			
南丹市	市立中央図書館	○			
	八木図書室	○			
	日吉図書室	○			
	美山図書室	○			
京丹波町	町立中央公民館図書室		○	25,453　件	
	瑞穂支所瑞穂教育分室				○
	和知ふれあいセンター図書室				○
綾部市図書館		○			
福知山市	図書館中央館	○			
	市立図書館三和分館	○			
	市立図書館夜久野分館	○			
	市立図書館大江分館	○			
舞鶴市	市立東図書館		○	96,307　件	
	市立西図書館		○	95,631　件	
宮津市立図書館			○	108,812　件	
与謝野町	町立図書館	○			
	町立図書館野田川分室	○			
	町立図書館加悦分室	○			
伊根町教育委員会図書室					○
京丹後市	市立峰山図書館	○			
	市立図書館大宮図書室	○			
	市立図書館弥栄図書室	○			
	市立あみの図書館	○			
	市立図書館丹後図書室	○			
	市立図書館久美浜図書室	○			
京都ライトハウス情報ステーション					○
京都学園大学図書館			○	191,677　件	
合　　計		52　館	8　館	756,731　件	7　館
		60館（22市町1大学）			

Ⅴ　事業その他

1　連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集や、府立高校との機関貸出図書等の搬送を行うため、次の５コースにより26市町村62施設（21府立高校、41図書館・読書施設）へ毎週１回（一部３箇月に１回）、合計250回の運行を実施した。

また、巡回先となっていない府立学校の要望に応え、試行的に直送を実施した。

(1) 搬送の内訳

（単位：冊）

区　　分	搬送冊数
府立図書館から市町村への搬送	20,900
市町村から府立図書館への搬送	1,344
市町村と市町村との間の搬送	26,397
府立図書館から府立学校への搬送	2,355
府立図書館から学校セットの搬送(直送含む)	9,660
計	60,656
寄贈図書の搬送	272
合　計	60,928

(2) 搬送コース

コース名	順　　路
Aコース	京都府立図書館→京都学園大学図書館→亀岡市立図書館→南丹高校(→南丹市八木図書室)→南丹市立中央図書館→農芸高校→京丹波町中央公民館図書室(→南丹市日吉図書室→京丹波町和知ふれあいセンター図書室→南丹市美山図書室)→北桑田高校→盲学校→京都ライトハウス情報ステーション→京都府立総合資料館→京都府立図書館
Bコース	京都府立図書館→洛水高校→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館→精華町立図書館→国立国会図書館関西館→木津川市立中央図書館→和束町体験交流センター図書室→南山城村図書室→笠置町中央公民館図書室→京都すばる高校→桃山高校→京都府立図書館
Cコース	京都府立図書館→東稜高校→東宇治高校→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館図書室→長岡京市立図書館→向日市立図書館→桂高校→京都市中央図書館→京都府立図書館
Dコース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→東舞鶴高校→大江高校→福知山市立図書館中央館→工業高校→京都府立図書館
Eコース	① 京都府立図書館→宮津市立図書館→与謝野町立図書館(→与謝野町立図書館加悦分室)→加悦谷高校(→与謝野町立図書館野田川分室)→伊根町ほっと館図書情報室(→京丹後市立図書館丹後図書室→京丹後市立図書館弥栄図書室)→峰山高校弥栄分校 (→京丹後市立図書館大宮図書室→京丹後市立図書館久美浜図書室)→久美浜高校→京丹後市立峰山図書館 ② →網野高校→京丹後市立あみの図書館→洛西高校→北嵯峨高校→嵯峨野高校→北稜高校→京都府立図書館

２　図書館事業等

⑴　読書週間記念講演会等の実施

例年、府立総合資料館と連携して開催している古典の日・読書週間記念講演会は、10月18日に天理大学文学部准教授の西野由紀氏を招いて、「皇州の喉ロー『名所図会』の誕生と洛東地域ー」と題して講演いただき、84名の参加があった。併せて、講演に関連した当館所蔵のブックリストを配付し、江戸時代などに発行された「名所図会」に関連した総合資料館所蔵の古典籍を展示した。

８月６日には、元同志社大学神学部教授本井康博氏を招いて、「新島八重さんの入門講座」と題して講演いただき、81名の参加があった。なお、当該講師は、当館で新島八重の署名入り図書が発見された平成25年２月に鑑定をお願いした方である。

９月21日には、「本を楽しむ、科学と遊ぶワークショップ第４弾」を「『つながり』をたどる」と題して、京都大学の研究者等が運営する井戸端サイエンス工房と共催で実施し、18名の参加があった。

12月８日には、京都府立医科大学附属図書館長・総合情報センター長・大学院医学研究科地域保健医療疫学教授である渡邊能行氏を講師に迎え、「胃がん・大腸がんの予防を目指して～がん検診と普段の生活からの両面での予防を！～」と題して、府立医科大学附属図書館と共催で開催し、59名の参加があった。

さらに、平成24年度から始めた図書館活用講座を年間10回開催し、92名の参加があった。図書館活用講座で実施している４つのテーマ別講座を、京都府が運営している「インターネット放送局生涯学習講座」により順次動画配信を行ったところ、述べ459回閲覧された。

⑵　図書館・読書施設等職員研修の実施

ステップ別研修として、図書館業務の初任者研修を5月23日、レファレンス初級者研修を６月21日、レファレンス中級者研修を12月11日に実施し、受講者には修了証を発行した。また、出前研修として、「ボイストレーニング講習会」、「図書館の本を修理する講習会」、「赤ちゃんと絵本をひらいたら～ブックスタート事業の活動から～」をそれぞれ北部・中部・南部で実施した。合計で延べ243名の参加があった。

⑶　学校支援事業

例年来館している府立京都すばる高等学校ビジネス探求科の２年生及び３年生、京都文教短期大学付属小学校３年生のほかに、宇治市立御蔵山小学校３年生、府立鳥羽高等学校３年生、京都市立堀川高等学校１年生等も施設見学・調べ学習のために来館し、延べ436名に活用された。

１月12日には、京都大学の研究者等の協力を得て、NHK Eテレの番組『考えるカラス』と連動したワークショップ「ここから先をみんなで考えてみる」を開催し、32名の参加があった。科学の考え方を図書館で学ぶ高校生向けワークショップであり、高校生の来館のきっかけづくりとなった。

また、学校における調べ学習を支援する「学校支援セット貸出」については、学校の要望を取り入れながら、新規分野として、高校版に「ヤングアダルト」を加えるなど、充実を図った結果、延べ145校、317セット、9,660冊の利用があった。

⑷　大学との連携

京都市立芸術大学との連携事業２年目として、同大学の学生が作成した当館シンボルマーク・ロゴなどをデザインに使ったオリジナルブックカバーやしおりを当館ホームページから印刷できるようにした。

学生作品の展示については、８月23日から11月27日まで同大学ビジュアルデザイン専攻の

学生が種田山頭火の俳句を題材として制作した絵本作品、11月29日から１月22日まで同大学デザイン科の２回生が小説に出てくる人物や空想の生物などについてイメージし、立体化した人形をエントランスにて展示した。

また、同大学ギャラリー@KCUA（アクア）での展示をより深く楽しめるよう展示内容に関連したブックリストを３回にわたり作成し、相互の施設で配布した。

そのほか、京都大学との連携として「京都大学アカデミックデイ2013」に参加する研究者からのお勧め本を当館地下閲覧室内に設置した。また、京都教育大学の「公立学校等訪問研究」講座の受講生を12月11日に受け入れ、当館所蔵の教科書コレクションを活用いただいた。

(5) 美術館等他機関との連携

京都市美術館の「ゴッホ展」や「竹内栖鳳展」、京都文化博物館の「インカ帝国展」、「大河ドラマ特別展八重の桜」及び「印象派展」と連携し、館内に図書コーナーを設置し、当館所蔵の関連図書を記載したブックリストを作成して美術館等の展覧会場で配布した。（合計約１万枚）

(6) 岡崎地域活性化事業との連携

岡崎地域活性化事業との連携として、京都・岡崎エリアの総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」への当館情報の投稿、時代祭のブックリストの作成、京都学生祭典や時代祭開催日に合わせた館内見学会の開催などを実施した。

また、平成26年３月27日から開催の「岡崎さくら・わかば回廊十石舟めぐり」と連携し、十石舟乗船券を持参した方に、当館作成のブックカバーとブックリスト「動物園を読む」をプレゼントした。

(7) 館内見学会の実施

府立図書館の機能や業務の周知のため毎月第３水曜日に開催の「館内見学会」に加え、10月に開催された京都学生祭典や時代祭開催日にも館内見学会を開催し、延べ254名の参加があった。また、個別の館内見学希望にも対応し、延べ79名の参加者があった。

(8) 京都府図書館等連絡協議会との連携

京都府と京都府図書館等連絡協議会との共催で、「第２回子ども読書本のしおりコンテスト」を実施した。当事業は、子どもの読書活動を推進する取組であり、7,167点の応募があった。11月２日に表彰式及び受賞作品の展示を行うとともに、最優秀作品２点を「しおり」にして、府内公共図書館、各学校、書店商業組合を通じて配布した。また、府内18市町村25会場で平成25年11月３日から平成26年10月13日まで巡回展示を行った。

京都府図書館等連絡協議会が事務局となっている第22回京都図書館大会は、同志社大学寒梅館を会場に、「図書館サービスをすべての人に〜誰もが行ってみたくなる“図書館”へ〜」をテーマに開催した。

Ⅵ　組織及び職員数（平成26年12月１日現在）

常勤職員27人（休職者除く）、非常勤職員21人（館長1人・再任用4人・嘱託14人・臨時職員2人）

- 館　長（非常勤1人）
  - 副館長（1人）
    - 総務課長（1人）
      - 庶務係（2人）：予算・服務・福利厚生　庁舎管理・調査等
      - 企画調整係（4人）：各種企画・図書館団体　システム管理等
    - 資料課長（1人）
      - 図書整理担当（3人）：目録整理・点検　寄贈統計・選択・装備等
      - 特定資料担当（3人）：逐次刊行物・電子化　視聴覚・マイクロ資料等
      - 閲覧担当（9人）：貸出返却・督促・登録　調査相談・障害者サービス等
      - 振興担当（3人）：調査・普及・貸出文庫　連絡車・相互協力等

Ⅶ　経　　費

（単位：千円）

科　　目	事　　項		金　　額
図　書　館　費	人　件　費		268,678
	資　料　費	図　　書	48,934
		逐次刊行物	6,496
		計	55,430
	そ　の　他		161,802
	計		485,910
事　務　局　費	人　件　費		5,324
	そ　の　他		20
	計		5,344
合　　計			491,254

Ⅷ　施設の概要等

所　在　地　等	〒606－8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL　075－762－4655 FAX　075－762－4653 ホームページ　http://www.library.pref.kyoto.jp/
開　　館	平成13年５月11日（建替による開館。なお、府立図書館設置は明治31年）
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階　　数	地上４階地下２階
敷　地　面　積	3,740㎡
延　床　面　積	7,478㎡　（地下２階2,296㎡、地下１階2,049㎡、１階1,129㎡ ２階746㎡、３階701㎡、４階557㎡）
建　築　費	617,415万円（外構工事・設備・家具等を含む。）
利用者用端末	OPAC22台、CD-ROM閲覧端末２台、データベース閲覧端末６台、新聞記事データベース閲覧端末５台、インターネット閲覧端末19台、貴重書データベース閲覧端末２台、映像ブース８台、オーディオブース４台
一　般　開　架	1,710㎡　10万冊の開架が可能
書　　庫	1,776㎡　自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。 閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、約100万冊の図書収蔵が可能。
開　館　時　間	火曜日～金曜日　　午前9時30分～午後7時 土･日曜日,祝日　　午前9時30分～午後5時
休　　館　　日	・月曜日（祝日及び振替休日は開館、翌日が休館） ・毎月第4木曜日（祝日は開館） ・年末年始（12月28日～翌年1月4日） ・特別整理期間

Ⅸ　沿　　革

明治31年（1898）	4月	府立京都図書館御苑内創立
〃	6月	業務開始
33年（1900）		夜間開館開始
36年（1903）	10月	巡回図書館（貸出文庫）制度開始（昭和25年3月廃止）
38年（1905）	4月	児童室開設（大正14年3月閉鎖）
39年（1906）	6月	館外貸与規則制定告示
〃	11月	新館起工式
42年（1909）	2月	新館竣工
〃	3月	京都府立京都図書館規則告示
〃	4月	新館開館
大正 8年（1919）	1月	本館図書分類目録編纂に着手
11年（1922）	4月	貸出文庫を増設
昭和 3年（1928）	3月	帯出規程告示
〃	4月	個人貸出実施
〃	6月	和漢図書分類目録分類表12冊作製
8年（1933）	10月	京都府中央図書館に指定
16年（1941）	5月	児童室復活開室（昭和23年4月元貴賓室に移転）
22年（1947）	8月	館外貸出廃止
23年（1948）	9月	読書ルーム開設（河原町丸善京都店地下）
24年（1949）	4月	読書相談開始
〃	6月	河原町分館開館（河原町丸善京都店地下、昭和31年9月閉館）
25年（1950）	2月	伏見分館開館（伏見信用金庫2階、昭和29年7月移転、同63年3月閉館）
〃	6月	宮津地方分館開館（宮津町役場内、昭和28年4月（宮津市立図書館内）、同32年10月（労働セツルメント内）、同39年5月（宮津市立図書館内）、同46年8月（新宮津市立図書館内）移転、平成9年3月閉館）
〃	7月	綾部地方分館（綾部市立図書館内、昭和38年7月（市民センター内）移転、同41年9月閉館）及び峰山地方分館開館（丹後地方教育局内、昭和30年6月（丹波公民館内）、同37年9月（丹波小学校内）、同55年4月（峰山町中央公民館内）移転、平成9年3月閉館）
〃	8月	学生自由閲覧室新設
〃	11月	京都府立図書館設置条例公布（条例第62号）
昭和26年（1951）	4月	上京分館開館（北区紫苑会館内、昭和31年5月（桜谷文庫内）移転、同51年5月閉館）
〃	9月	本館大閲覧室屋根修理着工休館
〃	10月	本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
〃	11月	本館大閲覧室安全開架式を実施
〃	12月	本館新体制で開館
27年（1952）	6月	本館読書相談係設置
〃	7月	園部地方分館（園部町立図書館内、昭和41年11月閉館）、北桑田地方分館（京北町下中、昭和54年8月（京北農業協同組合弓削支所内）仮移転、同55年3月閉館）及び木津地方分館開館（旧役場内、昭和29年7月（木津小学校内）、同38年5月（町民センター内）移転、同50年3月閉館）
28年（1953）	4月	本館月曜日休館を実施
29年（1954）	2月	伏見分館新築工事着工
〃	9月	京都府立図書館「善本目録」作製
30年（1955）	9月	青年学級文庫実施
32年（1957）	6月	中京分館（河原町分館改称）開館（烏丸庁舎内、昭和40年1月（京一商同窓会館）仮移転、同40年11月（京都府中京庁舎内）移転、平成13年3月閉館）
35年（1960）	10月	中京分館館外貸出実施
38年（1963）	3月	本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖
		蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
〃	11月	本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
〃	12月	児童室 土・日曜休室
39年（1964）	1月	本館外装改修工事
〃	5月	本館夜間・土曜午後再開（9時まで）貸出室設置
		児童室館外貸出実施土曜日開室
		伏見分館館外貸出実施
〃	7月	市内分館 日曜日休館を実施
40年（1965）	7月	児童室に母親文庫設置
〃	9月	府教育委員会基本規則一部改正
		教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施

昭和41年（1966）11月	自動車文庫命名式（蜷川知事「あゆみ号」と命名）
	移動図書館事業開始（平成2年12月終了）
42年（1967）7月	本館修繕工事
〃 9月	貸出室移転再開
44年（1969）12月	本館夜間閉館時間（7時）に変更
46年（1971）8月	本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室
	貸出方式をブラウン方式に切替
48年（1973）4月	上京分館館外貸出実施
50年（1975）3月	身体障害者用便所・スロープ新設
〃 5月	本館（閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設）内装工事
	本館閲覧室を完全開架式に切替
51年（1976）4月	本館閲覧用目録作成に着手
〃 6月	京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く
〃 7月	児童室改修工事
53年（1978）3月	本館改修工事（外装・屋根葺替・玄関・防災設備）
	本館閲覧用目録整備完了
54年（1979）3月	本館書庫の改修工事
〃 4月	国会図書館からの図書貸出制度発足
	本館自習室を閉鎖
〃 11月	「専門情報機関要覧」刊行
56年（1981）9月	移動図書館用電動集密書架設置
〃 12月	伏見分館改修工事
57年（1982）7月	障害者サービス（対面朗読）実施
58年（1983）2月	生涯教育推進事業として読書推進講座実施
〃 3月	「京都府の公共図書館」刊行
	伏見分館ブックポスト設置
〃 6月	図書館協力貸出本格実施
〃 7月	新着図書案内発行
59年（1984）12月	連絡協力車試験的運行開始（2コース）
60年（1985）7月	国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
61年（1986）8月	京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問
昭和61年（1986）12月	昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
62年（1987）10月	国立国会図書館とオンライン実施
63年（1988）3月	「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
平成元年（1989）10月	図書館資料広域貸出事業開始
	「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
2年（1990）3月	「点字・録音図書目録（点字版）」刊行
〃 4月	連絡協力車事業本格実施
〃 6月	機構改革により本館は4課組織に
3年（1991）3月	本館模様替内装工事（受付カウンター・新聞雑誌室等配置換）
〃 6月	マイクロリーダプリンターのサービス開始
〃 8月	「連絡協力車だより」発刊
4年（1992）9月	毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
5年（1993）3月	「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
6年（1994）3月	「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
7年（1995）2月	阪神・淡路大震災（1月17日）による本館一部被害の補修・補強工事実施
〃 5月	本館老朽化による安全対策のため館内模様替え（事務室の1階への移動等）実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館（7月3日再開館）
〃 8月	連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
〃 9月	一般図書室の天井一部損傷による補修工事実施。9月18日から臨時休館（10月16日再開館）
〃 12月	京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について（提言）」を提出する
8年（1996）3月	平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
〃 9月	新府立図書館建設基本計画の概要を発表

平成8年（1996）	9月	9月補正予算に文化財的観点から壁面（東側前面）を保存しながら、新築整備するための基本設計費等を計上
9年（1997）	3月	平成9年度当初予算に実施設計費等を計上
〃	4月	新館整備のため本館を休館（9.4.1～）
〃	9月	本館 仮施設（京都市下京区、旧中小企業総合指導所）へ移転完了
10年（1998）	3月	府立図書館解体工事及び壁面（東側前面）保存工事完了
		平成10年度当初予算に、新館建設工事費等を計上
〃	7月	総合資料館蔵書との一体的データ化作業開始
〃	9月	本館事務室の再移転（旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門校へ）
〃	11月	新府立図書館新築工事起工式
11年（1999）	2月	平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催
〃	3月	平成11年度当初予算に新築工事費等を計上
〃	6月	「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用
12年（2000）	3月	平成12年度当初予算に新築工事費等を計上
〃	5月	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
〃	10月	新館竣工
〃	11月	仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化
		「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行（1日）
13年（2001）	2月	仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了
〃	4月	府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制（総務課：2係、資料課：4担当）を施行（1日）
		「京都府立図書館の管理運営に関する規則」（平成13年京都府教育委員会規則第1号）を施行（1日）
〃	5月	「京都府立図書館個人貸出規程」等、各種規程を施行（7日）
		開館式（10日） 一般開館（11日）
平成13年（2001）	5月	京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始（10日）
		連絡協力車の毎週運行を開始（16日）
〃	6月	京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始（1日）
14年（2002）	4月	「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
15年（2003）	2月	館内完全分煙の実施
18年（2006）	4月	インターネット貸出待ち登録サービスを開始
〃	5月	電話による貸出延長サービスを開始
〃	12月	京都府図書館総合目録ネットワークに、府内全市町村が参加
19年（2007）	3月	取寄せ申込みeサービス開始
20年（2008）		源氏物語千年紀記念事業（小展示・パネル展等）開催
〃	5月	インターネット貸出延長サービス開始
〃	9月	学校支援セット貸出開始
21年（2009）	3月	所蔵音声資料の音声目録CD-ROM（デイジー版）を作成、配布
〃	6月	府立図書館「岡崎」100周年記念事業（小展示・パネル展等）開催（～平成22年3月）
〃	9月	府立図書館「岡崎」100周年記念パンフレットを作成
〃	11月	国立国会図書館関西館との連携（連絡協力車の運行）
22年（2010）	4月	学校支援セット貸出小中用CD-ROM目録を作成、配付
〃	9月	京都府立医科大学附属図書館と連携した「府民講演会」を開催
〃	10月	新着図書お知らせサービス開始
23年（2011）	4月	祝日開館の実施
		学校支援ポータルサイトを開設
〃	8月	館内全面禁煙の実施
〃	12月	京都大学研究者等と連携したサイエンスイベントを開催
24年（2012）	4月	子ども読書本のしおりコンテストを実施
〃	8月	府立図書館サービス計画を作成
〃	11月	図書館活用講座を実施
25年（2013）	3月	府立図書館のシンボルマークと和文ロゴタイプを作成
〃	7月	H24図書館評価(試行)を社会教育委員会議で報告
〃	9月	学校支援ｾｯﾄの府立高校(非巡回校)への直送を実施

X　歴代館長

氏　名	在職期間		
三宅　五郎三郎	明治31年4月	～	明治33年3月
原田　千之助	明治33年3月	～	明治33年12月
中道　貫一 （館長心得）	明治34年1月	～	明治34年2月
三宅　五郎三郎	明治34年4月	～	明治37年3月
湯浅　吉郎	明治37年3月	～	大正5年5月
北畠　貞顕	大正5年10月	～	昭和15年11月
内藤　乾吉	昭和15年11月	～	昭和22年7月
西村　精一	昭和22年7月	～	昭和38年10月
相馬　利雄	昭和38年10月	～	昭和45年8月
岩崎　彰之助	昭和45年8月	～	昭和47年4月
吉川　博明	昭和47年4月	～	昭和48年6月
庄林　二三雄	昭和48年6月	～	昭和49年4月
宮本　英男	昭和49年4月	～	昭和50年3月
布村　忠雄	昭和50年4月	～	昭和55年4月
長谷川　啓司	昭和55年4月	～	昭和56年4月
浜辺　一彦	昭和56年4月	～	平成元年7月
上田　将 （本庁指導部長兼任）	平成元年7月	～	平成元年9月
林　芳男	平成元年9月	～	平成4年4月
柴田　實	平成4年4月	～	平成6年5月
高木　多喜男	平成6年6月	～	平成8年3月
五十嵐　一郎	平成8年4月	～	平成10年3月
西山　隆史 （本庁指導部長兼任）	平成10年4月	～	平成10年5月
小山　雄一	平成10年6月	～	平成13年3月
中里　隆憲	平成13年4月	～	平成16年3月
津守　俊一	平成16年4月	～	平成19年3月
松田　定	平成19年4月	～	平成21年3月
勝間　喜一郎	平成21年4月	～	平成24年3月
宮野　文穂	平成24年4月	～	

京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針

1　運営基本方針（平成24年８月改定）

⑴ 府内の図書館サービスの中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図り、府全体の図書館サービスの充実を図ります。（府内の図書館サービスの中核的図書館）

①市町村立図書館等との役割分担を踏まえた資料・情報の収集を行い、府内公共図書館の資料保存センターとしての役割を果たします。

②市町村立図書館等と連携し、京都府図書館総合目録ネットワークの活用などにより、府内全域に均質な図書館サービスを提供します。

③市町村立図書館等が行う図書館サービス充実に向けた取組を支援します。

④市町村立図書館等や学校等と連携し、子どもの読書活動の推進を支援します。

⑵ 府民の暮らしや地域の発展に役立つ情報を提供し、府民の様々な活動を支援します。（府民の多様な活動を支援する図書館）

①府民の調査研究に役立つ資料・情報を提供します。

②府民の課題解決を支援するため、的確なレファレンス（調査相談）サービスを提供します。

③多様化する府民ニーズに応える図書館サービスを提供します。

④府民にとって利用しやすい施設づくりを進めます。

⑶ 情報通信技術を積極的に活用し、情報化の進展に対応した高度な情報サービスを提供します。（情報化社会の進展に対応する図書館）

①情報通信技術の発展に対応した情報サービスを提供します。

②電子ネットワークを活用し、積極的に情報を発信します。

⑷ 京都の文化の創造と活性化に寄与するため、関係機関と連携して、京都府立図書館の特色を生かした情報を発信します。（京都から情報を発信する図書館）

①新施設の整備を進めている京都府立総合資料館等との連携により、京都らしさのある資料・情報を発信します。

2　京都府立図書館資料収集方針

京都府立図書館は、府民の調査研究や生涯学習を支援する府内の図書館ネットワークの中核的図書館として、その役割を果たすための資料を収集します。

⑴ 府民の調査研究の拠点、及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集します。

①各分野の基本図書、研究書、専門書、資料集、逐次刊行物を収集します。

②調査相談機能を果たすための参考図書等を収集します。

③各分野の調査研究、生涯学習に役立つニューメディア資料を収集します。

⑵ 府内図書館ネットワークのセンターとして、府内の市町村図書館活動振興のための資料を収集します。

①市町村の図書館では揃えにくい専門書・研究書・資料集等を、府内の図書館からのリクエストを踏まえ収集します。

②市町村図書館からのリクエストによる一般書は、他の市町村図書館に所蔵されていないとき、また相互協力による資料提供が難しいときは収集します。

⑶ 京都府立総合資料館が京都資料、歴史資料、美術資料、官庁資料に重点をおいた収集をしていることに鑑み、両館の機能を踏まえて資料を収集します。

①京都関係資料は、市販された資料を中心に収集します。

②歴史、美術分野の資料は、府民の生涯学習及び市町村図書館を支援する上で最低限必要となる基本図書及び参考図書を中心に収集します。

③官公庁出版物は、市販される年次刊行物を中心に収集します。

事業概要（平成25年度のまとめ）

平成27年１月発行

発 行 者　　京 都 府 立 図 書 館
〒606-8343　京都市左京区岡崎成勝寺町９

TEL　(075) 762-4655（代）

FAX　(075) 762-4653

URL　http://www.library.pref.kyoto.jp/

この冊子は再生紙を使用しています。